

[okazaki_119]

活動タイトル	第 42 回後志公立小中学校事務研究大会
実施日	2020 年 2 月 4 日
場所	岩内地方文化センター（岩内町）
対象数	34 人
内容	<p>後志公立小中学校事務研究大会で、事務職員の方々を対象に、「温暖化・省エネを知る～学校でできること～」と題して講座を行いました。</p> <p>最初に、道内には 2 3 名の推進員がいて、学校や地域で利用できる無料の派遣制度があることを伝えました。次に、スウェーデンの少女グレタさんから始まった気候デモとその主張から、パリ協定について簡単に触れ、講座の実施日が節分の翌日であったため、80 年後の節分の日を扱った「2100 年未来の天気予報（冬）」の動画（環境省作成、8 分 30 秒）を見ていただきました。気候変動の緩和のための対策を取らずに 4.8℃上昇してしまったシナリオと、1.5℃におさえることのできたシナリオによる 80 年後の節分の様子に、皆さん、見入っておられたようです。また、温暖化の影響によって大型化すると予想されている台風についても、近年日本に上陸した台風の話も含めて触れ、気候変動の緩和策と適応策、両方が必要であることをお話ししました。さらに、ちょうど前日の 2 月 3 日に、古平町が道内で初めてゼロカーボンシティ宣言をしたことが公表されたので、その説明も行いました。同じ後志管内の自治体のことだったので、熱心にメモを取る方がおられました。</p> <p>タイトルは、「学校でできること」でしたが、家庭で取り組めることも含めて、クイズや電力測定も交えながら、お話を進めました。クイズにも、皆さん、積極的に参加していただき、和やかな雰囲気で行うことができました。小・中学校は自治体の施設であるため、事務職員の方々の権限でできることは、設定や運用、日頃のメンテナンスが中心になってきます。実際に施設や学校で見聞きした事例も紹介しながら、お話を進めました。最後は、「人は、やろうという意識はあっても、行動に移すのはなかなか大変なもの」なので、情報的手法や財政的手法、規制的手法のほかに、ナッジや仕掛学などの行動インサイトを利用した取組が各地で行われている事例を紹介して、講座を終了しました。少しでも、皆さんのお役に立てそうなことがあれば良いなあ、と思っています。</p> <p>小中学校の事務職員さんの取組については、ほとんど知らなかったもので、道内各地で行われている研究大会の報告を読みました。児童を中心とした学校づくりについて、いろいろな角度から研究や実践共有を進められていることに感心しました。また、児童・生徒へのアンケートから、学校施設・設備の修理・改善点を把握し、その改修結果を児童・生徒にフィードバックしておられる取組から、課題としてあげられることのトップがトイレに関するものであったことがわかりました。これは、全国的にも同様のようで、「学校のトイレ研究会」(https://www.school-toilet.jp/index.html)という組織があり、いろいろな調査研究をされており、健康面や衛生面も考慮したトイレ設備や掃除の仕方などの情報が掲載されており、私自身が学ぶことも多かったです。このように、私自身の学びの多い今回の講座でしたが、それらを体系立てて、わかりやすく伝えられたかという点では、課題が残ります。もう少し、時間をかけて、しっかり準備できるよう、早めに取り組んでいかななくてはならないと思いました。</p>

配付資料：PPT 資料の抜粋

実践！おうちで省エネ（北海道経済産業局）

冷蔵庫のちょっとディープなお話（NPO 法人北海道グリーンファンド）

実施写真等